

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

低コスト林業に向けた現地研修会を開催

東北森林管理局では、林業の低コスト化に向けコンテナ苗の活用、次世代優良苗の開発のほか、伐採と植栽を同時期に行う一貫作業システムなどを推進しています。この一環として、最上支署でも、昨年度より、管内の国有林において**一貫作業システム**※に取り組んでいます。

今年度は、最上地域の民有林(@最上町)では初めて一貫作業システムが実施されることになり、**最上支署では、その経験・知見を活かして技術支援**を行いました。

また、10月6日には、同システムの普及を目的に、最上町、県最上総合支庁、最上支署の3者合同で、現地研修会を実施し、管内の市町村林務担当者、林業事業体、県立農林大学校の生徒など約100名が参加しました。

当日は、林業事業体による同システムの実演や意見交換などを行い、技術の習得と普及が推進されました。

このように、最上支署では、国有林で培った技術力を活かし、民有林への支援なども積極的に行っています。

伐採と植付の一貫作業システム



※一般的には、立木を伐採する業者と苗木を植栽する業者は別々に契約・実施しています。このため、伐採業者が伐採後、時間をおいて（場合によっては数年後）別の業者が地拵えと植栽を実施します。
一貫作業システムでは、伐採・搬出後すぐに、伐採に使用した機械で地拵えを行い、植栽も同時進行的に実施することから、効率的な作業システムとして期待されています。



現地研修会には多くの林業関係者が参加しました



当支署職員が作業手法について丁寧に説明しました



伐採時に使用した重機を用いて地拵え(枝等の整理)を行いました



県立農林大学校生もコンテナ苗を植栽しました



上手にできたかな？



終日、盛況でした！



森林の働きについても学習！



当支署の巣箱づくりコーナー

秋本番！県林業まつりに参加しました

10月14、15日の両日、県総合運動公園(@天童市)において、山形県林業まつりが開催されました。

県内農林関係のさまざまなブースが展示される中、最上支署でも、会場の一角に巣箱づくりのコーナーを設け、老若男女多くの方の巣箱づくりのお手伝いをしました。また、巣箱づくりの合間には参加者の方に、森林の働きや野鳥の生態などについての説明も行いました。

このように最上支署では地域が取り組むイベントに出向き、住民の方々に対し、木材利用の重要性や木材の良さ、森林の持つ機能・多様性について体験・学ぶ森林環境教育の実践に取り組んでいます。



山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字木ノ下新林1793地内(仮庁舎)

